

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【公表番号】特表2007-523971(P2007-523971A)

【公表日】平成19年8月23日(2007.8.23)

【年通号数】公開・登録公報2007-032

【出願番号】特願2006-547542(P2006-547542)

【国際特許分類】

C 08 G	18/38	(2006.01)
C 08 F	290/06	(2006.01)
C 07 C	271/20	(2006.01)
C 07 C	271/28	(2006.01)
C 07 C	311/06	(2006.01)
C 09 K	3/18	(2006.01)
C 09 D	133/14	(2006.01)
C 09 D	5/20	(2006.01)
B 05 D	5/00	(2006.01)
B 05 D	7/24	(2006.01)
D 06 M	15/295	(2006.01)

【F I】

C 08 G	18/38	Z
C 08 F	290/06	
C 07 C	271/20	C S P
C 07 C	271/28	
C 07 C	311/06	
C 09 K	3/18	1 0 3
C 09 D	133/14	
C 09 D	5/20	
B 05 D	5/00	Z
B 05 D	7/24	3 0 2 P
D 06 M	15/295	

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月26日(2007.12.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 次式：

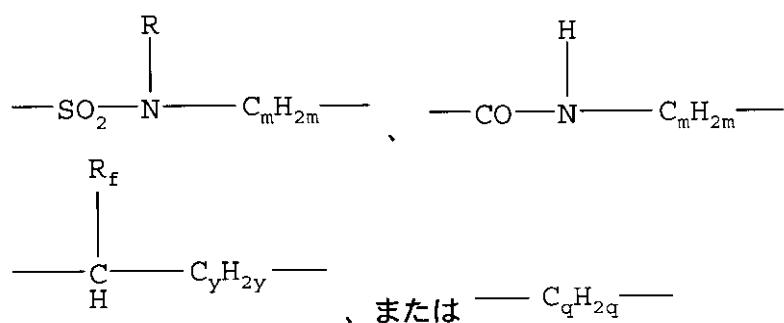
$C_n F_{2n+1} - X - OH$

(式中、

$n = 1 \sim 5$ であり、

$X =$

【化1】



であり、

$R =$ 水素または炭素原子1~4個のアルキル基であり、

$m = 2 \sim 8$ であり、

$R_f = C_n F_{2n+1}$ であり、

$y = 0 \sim 6$ であり、

$q = 1 \sim 8$ である)

によって表される少なくとも1種類のフルオロケミカルアルコール；

(b) 少なくとも1種類の非分岐対称ジイソシアネート；

(c) アルキレン部分に炭素原子2~約30個を有する、少なくとも1種類のヒドロキシ末端アルキル(メタ)アクリレートまたは2-フルオロアクリレートモノマー；の反応生成物を含む、フルオロアクリレート。

【請求項2】

(a) $C_4F_9SO_2NC_2H_3(C_2H_2)_2OH$ と、

(b) 4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネートと、

(c) ヒドロキシブチルアクリレートまたはヒドロキシエチルアクリレートと、の反応生成物を含むフルオロアクリレート。

【請求項3】

以下の一般式：

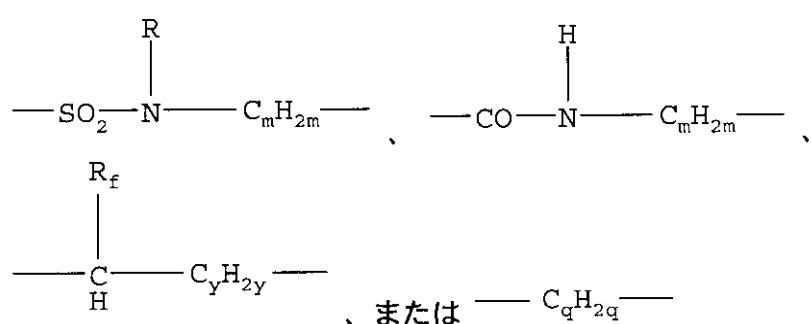
$C_n F_{2n+1} - X - O C(O)NH - A - H N C(O)O - (C_p H_{2p}) (O) CO C(R')$
 $) = C_2H_2$

(式中、

$n = 1 \sim 5$ であり、

$X =$

【化3】



であり、

$R = H$ または炭素原子 1 ~ 4 個のアルキル基であり、
 $m = 2 \sim 8$ であり、
 $R_f = C_n F_{2n+1}$ であり、
 $y = 0 \sim 6$ であり、
 $q = 1 \sim 8$ であり、
 $A =$ 非分岐対称アルキレン基、アリーレン基、またはアラルキレン基であり、
 $p = 2 \sim 30$ であり、
 $R' = H, C H_3$ 、または F である)
 によって表されるフルオロアクリレート。

【請求項 4】

以下の一般式：

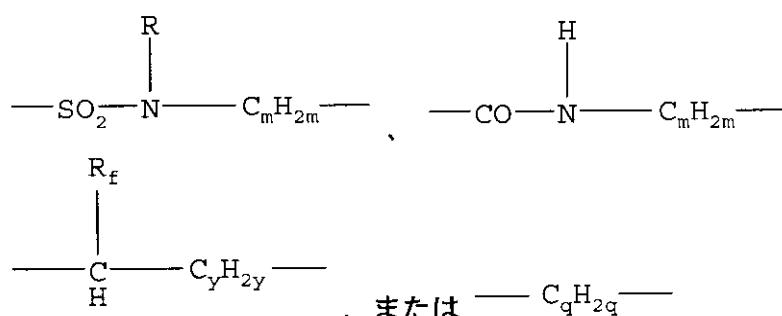


(式中、

$n = 1 \sim 5$ であり、

$X =$

【化 7】



であり、

$R = H$ または炭素原子 1 ~ 4 個のアルキル基であり、
 $m = 2 \sim 8$ であり、
 $R_f = C_n F_{2n+1}$ であり、
 $y = 0 \sim 6$ であり、
 $q = 1 \sim 8$ であり、
 $A =$ 非分岐対称アルキレン基、アリーレン基、またはアラルキレン基である)
 によって表される、フッ素化イソシアネート。

【請求項 5】

請求項 1、2、3 または 4 に記載のフルオロアクリレートの反復単位を含む、フッ素化アクリルポリマー。